

奇跡の軌跡

第13号 令和6年3月31日発行
(原稿作成：令和4年度)

発行者
厚木市ジュニアリーダースクラブ
連絡協議会 広報部会

協力
厚木市青少年指導員連絡協議会
広報部会
厚木市青少年課

研修の様子

カウンセラー

養成研修会

令和四年四月二十三日
（二十四日）

四十三期 川崎瑠晟

今回、僕はカウンセラー研修に参加しました。伊勢原のジュニアリーダーのOBの方々に来て頂き、カウンセラーとは何か、カウンセラーがどれだけジュニアリーダーにとって大事なのかを教わりました。

一番印象に残ったのは、アイスブレイクの進行の仕方です。OBの方々が見本を見せてくれましたが、それぞれのカウンセラーが自分身の役割を徹底して行っており、一瞬の乱れもなくアイスブレイクが進んでいきました。

ゲームを進行するにもみんなが分かりやすくルールを説明したり、ひとつひとつの動作が大きくり、堂々としているのを見てとても見やすく、小さな子どもたちを相手にする時にも円滑に進むんだなと感じました。

他にも、アイスブレイクにはエールマスターと呼ばれるゲーム全体の盛り上げる人たちも絶えず声を出し続け、全体の雰囲気をはぐすようにしていました。

アイスブレイクを行っていく上で、全体をよく見て状況を判断したり、いつ、どのタイミングが一番盛り上がるかを判断したりしながらゲームを進めていくことが大

初級養成研修会

令和四年七月九日～十日

切だと僕は感じました。
カウンセラーで学んだことは進路でとても役に立つと思っ
ています。人前で話す部分でも、自分のしたいことを堂々とするのも、この先でとても役に立つものではないかと思いました。

四十三期 山口結月

初級研修会をカウンセラーとして企画してみても最初に、「研修会を立てる？作る？のは大変。」と感じました。高一の中で一人一人の思っていることが大きく違つて、意見をまとめるのは大変でした。初めて人に頼りにされてリーダーという立場をやりましたが、ぶつちやけ何をしていいのかわかりませんでした。高一の先輩に頼つて研修会を終えましたが、先輩から少し怒られてしまい、私も一人の力では半泣き状態でした。でも今ここで泣いたら良くないと思つたので、お互いをお互いで支え合いました。

その結果、この研修会は成功したのかと考えたとき、私には成功とは思えませんでした。でも、高ーの中で喧嘩もしながらも研修会というものを作り上げられて良かったです！！先輩たちからしたら、私たちの研修会は理想ではなかったと思います。けど！！初めての研修会にしては、みんな頑張ったと思っています。個々に悔しい気持ちは沢山あったと思います。

中級養成研修会

令和四年七月二十三日
至
二十四日

す。この研修会を次に繋げていきたい、先輩の理想を超えるような研修会を次は絶対に絶対につくってみせる！と私は思いました。

もう終わった話だから、どうこう言うつもりはありません。ただ、研修会をやり遂げられたことが一番嬉しかった！高一の中での絆も深まったと思います！これから、みんなで頑張っていこうね！！私たち高一ならできるよ！みんな一人一人得意なものを持っているんだから！（私は、言葉で言うのが苦手だからここで言わせて欲しかったです…）

四十二期 高橋明日真

ゲームや知識の応用など各々の実力向上を目指し、これまでよりも内容の濃い一日間になりました。今回のテーマは「宇宙」ということで、宇宙に関連づけたゲームでのアイスブレイクや研修会冊子、夜には初めての試みも計画しました。

一日目は講義、ゲームの山立て実践などが行われました。講義では、KYTはどうして行う必要があるか、どのような効果があるか等の知識をより深める内容や、もし活動中に地震等の災害が起こったなどのような行動をとればいいのか等の応用知識をメインに学んでもらいました。ゲームの山立て実践では研修生が主体となり、最

会長あいさつ

四十二期 高橋明日真

今年度もジュニアリーダーの活動にご参加、ご協力いただきありがとうございます。今年度はあばしり自然文化体験研修をはじめ、あつぎ国際大道芸などコロナ禍によって実施できていなかったイベントも実施、参加することができ、活動がコロナ前に戻りつつあるような一年でした。まだ完全にはいきませんが、国の感染対策ガイドラインも少しずつ緩和され、ジュニアリーダーの間でも来年度から少しでも活動のしやすいように対策を考えていきたいと思っています。

各部会から

総務部会

四十二期 浅倉そら

四十二期 浅倉そら
 私たち総務部会は高一、高二合わせて4人で活動しています。主な活動として、月に一度行われる連絡協議会役員会の進行や各部会のサポートを行います。4人で協力しジュニアリーダーやカウンセラーの先頭に立って、一年間みんなをまとめられるように頑張りました。私はこのメンバ―で活動できて良かったと思います。なぜなら、お互いに助け合うことができたり、すぐに各部会のサポートに回れたからです。

広報部会

四十二期 小原千佳

四十二期 小原千佳

昨年度は新型コロナウィルスの影響で依頼が少なかったですが、今年度は活動への制限が緩和されたことにより3年ぶりの依頼に多くのシュニャーリーダーが参加しました。昨年度の「奇跡の軌跡」には載せられなかった事業や今年度初めて参加した事業の感想もあるのですが、ぜひ注目して読んでいただければと思います。計画を立てていたのにも関わらず、また、部会長なのになかなか動くことができません活動が遅くなってしまうし、たが、無事「奇跡の軌跡」を発行できてうれしく思います。協力してくださった皆様ありがとうございます。

活動部会

の広報紙からジュニアリーダーの活動の楽しさや活動で学んだことなどを読んでもらえたら嬉しいです。これからジュニアリーダーの広報紙「奇跡の軌跡」をよろしく願います。

令和四年度活動部会部会長
を務めました穴戸です。昨年
度は主になりわい節の練習会
とアイスブレイクやキャンプ
ファイヤーのゲームを中心と
したゲーム研修を行いました
た。なりわい節の練習ではな
かなか日程や時間が足りな
く、十分に練習することがで
きなかったのですが、練習の
回数をこなすことで質の高い
練習をすることができました
た。そして子ども会育成連絡
協議会の六十周年記念祝賀会
で、なりわい節を披露するこ
とができました。

ゲーム研修会では主にKY
T講習や新型コロナウイルス
によってできなくなったアイ
スブレイクのゲームやキャン
プファイヤーのゲームを色々
教えることが出来ました。



厚木市マスコットキャラクター

あゆまろちん



令和四年十二月十七日～十八日

フォーローアップ 研修会

四十二期 祝田喜美子

冬季中級研修会が中止になったことによりカウンセラーに向けて行われたこの研修会。主にジュニアリーダーの基礎を応用する力をつけるために行われました。講師は42期のカウンセラー3人が主体となり、開会式後に行われたジュニア基礎テストとアンケート内容をもとに、一人一人に合った講義やグループワーク、個人面談を行いました。

初日はテンションや時間を考慮しつつ、アイスブレイクの山立てを行い、その後実践してもらいました。そしてお昼ご飯の後に自分達が主催で行ってきた研修会を見直すことと、ジュニアリーダーの今後のあるべき姿、カウンセラーのあるべき姿を追い求め、地域の依頼が減る中で経験が少ない中高生をどのように育成していくかについて考えるグループワークをし、てもらいました。大人や42期、43期とそれぞれが考えていることへの意見が飛び交い、とても有意義な時間となりました。

2日目は、前日だけでなく、この一年を通じた成功や失敗から、改めて自分達の役割分担を話し合う裏で、アンケートや日頃の様子を見ての個人面談を行いました。その後、どうして化繊の服がダメ

研修の様子

フォローアップ

研修会

令和四年十二月十七日～十八日

冬季中級研修会が中止になったことによりカウンセラーに向けて行われたこの研修会。主にジュニアリーダーの基礎を応用する力をつけるために行われました。講師は42期のカウンセラー3人が主体となり、開会式後に行われたジュニア基礎テストとアンケート内容をもとに、一人一人に合った講義やグループワーク、個人面談を行いました。

初日はテンションや時間を考慮
 しつつ、アイスブレイクの山立て
 を行い、その後実践してもらいま
 した。そしてお昼ご飯の後に自分
 達が主催で行ってきた研修会を見
 直すことと、ジュニアリーダーの
 今後のあるべき姿、カウンセラー
 のあるべき姿を追い求め、地域の
 依頼が減る中で経験が少ない中高
 生をどのように育成していくかに
 ついて考えるグループワークをし
 てもらいました。大人や42期、43
 期とそれぞれが考えていることへ
 の意見が飛び交い、とても有意義
 な時間となりました。

2日目は、前日だけでなく、この一年を通して成功や失敗から、改めて自分達の役割分担を話し合う裏で、アンケートや日頃の様子を見ての個人面談を行いました。その後、どうして化繊の服がダメ

なのか実際に確認してみよう、ということで、講師が持ち寄ったいろいろな布を燃やして綿よりどのくらい燃えやすいのかを確認しました。化繊であればあるほど、ドロドロに溶け出して、今までは規則だからと本当の危険性をわかっていなかった私たちには、とても良い勉強になりました。終わりにみんなまで考えたキャンドルファイヤーをして解散となりました。

普段の研修会で規則だからと研修生に教えてきたことも、改めて学ぶことにより以前より重要性や危険性を実感することができた素晴らしい研修会でした。

関東甲信越静地区

ブロック大会

令和四年八月十九日～二十一日

四十二期 祝田喜美子
 栃木県的那須高原で開催された
 関東甲信越静地区ジュニアリ
 ダー大会に参加してきました。コ
 ロナ禍ということもあり、毎朝抗
 原検査をしたり、換気や消毒をす
 るなど感染症対策をしながらの開
 催となりました。今年は欠席とな
 る県もありましたが、栃木県、埼
 玉県、群馬県など多くの県の代
 表者が参加しました。

り、初日はアイスブレイクから始まり、ユーザーの皆さんと交流したいゲームを通して他県の人と交流しました。その後、2日目のキャンドルファイヤーに向けて私はレンドルファイン係としてゲームの山を同じ係のみんなと立てまし

です。これが何より記憶に残りました。日が経つにつれ、みんなの表情が晴れ、明るい声や笑いが増えていくあの光景は、ジュニアリーダーをしていて良かったと感じる時間でした。

最後に事後研修。厚木に戻り、一週間後にみんなで新聞を書きました。皆、鮮明に各日の出来事を覚えており、話す顔に自然と笑みが溢れていました。作った新聞はこの班も素晴らしく、全員がこの研修を楽しんでいたことが感じられました。

数年ぶりに実施できたこの網走研修。私は改めてマルチタスクの難しさを痛感しました。ですが、それが研修中にできるようになっていく成長の喜びを感じる時もありました。各々反省点は沢山あったかも知れませんが、それでも、大人と子ども関係なく、一人一人が学び、一回りも二回りも成長ができた八日間だったと思います。

来年度以降もこんな機会が、小学生やカウンセラー、大人の方々にも増えていくことを願っています。



食事の風景

四十三期 秋山陽造

球技大会での主な活動内容は、本部補助と会場運営の手伝い、特
点の集計・記録などでした。私は
何人かで得点の集計・記録を担当
しました。また開会式の時に、国
旗を上げる役をやらせてもらい、
貴重な体験ができて良かったです。

球技大会の手伝いへの参加は今
回が初めてで、得点の集計方法に
も馴染みがなかったのですが、と
ころ不安に思えるところもあり
ましたが、最後までやり遂げられ
て良かったと感じています。従事
中に見える競技や子どもたちの様
子から、どこが勝つのか予想した
り応援したのも楽しかったです。

今回、球技大会に参加して改め
て思ったのは、連携の大切さで
す。この時は、ドッチボールとソ
フトボールの得点を集計しまし
た。その連携がしっかり取られ
ば、集計作業の負担がかなり軽
くなると感じました。

様々な役割に分かれて手伝い、
球技大会の運営に貢献できてよ
かったです。

少年少女球技大会

令和四年十月一六日

球技大会での主な活動内容は、
 四十三期 秋山陽遥
 本部補助と会場運営の手伝い、特
 点の集計・記録などでした。私は
 何人かで得点の集計・記録を担当
 しました。また開会式の時に、国
 旗を上げる役をやらせてもらい、
 貴重な体験ができて良かったで
 す。



様々な役割に分かれて手伝い、球技大会の運営に貢献できてよかったです。

で楽しくおしゃべりしたりしながら食べられて良かったです！

一日目は大縄跳びや頭を使ったゲーム、レクダンやキャンドルファイヤーなどの体を多く使ったゲームや企画をやりました。どれも全力ででき、チームワークを高めました。二日目は野外炊事や高一からのサプライズがありました。

2日間を通してコロナによって
できていなかったアイスブレイク
などのゲームやマシユマロリバ
などの道具を使ったゲームを沢山
入れました。それにより、コロナ
禍前を知っている私たち42期が体
験して知っているけど、みんなが
できていないゲームを引き継げま
した。みんな楽しくできて良かった
です！高一からのサブライズも
みんなで盛り上がることで、ま
楽しく体を動かすことができまし
た。

2日間誰も怪我することなく、楽しく活動することができて良かったです！最後の最高の思い出になりました！

お楽しみ研修会

令和四年三月十八日～十九日

3月18、19日に行われました。
高校二年生の42期力ウンセラーの
最後の研修会でした。

個性豊かなメンバーが、この秘密のゲームをやり、ポイントを獲得するために、野外炊事でポイントを獲得した。どのチームも、目の外炊事でポイントを獲得した。このゲームをやり、ポイントを獲得するために、野外炊事でポイントを獲得した。このゲームをやり、ポイントを獲得するために、野外炊事でポイントを獲得した。



奇跡の軌跡

第 13 号 令和 6 年 3 月 31 日発行
(原稿作成：令和 5 年度)

発行者
厚木市ジュニアリーダースクラブ
連絡協議会 広報部会

協力
厚木市青少年指導員連絡協議会
広報部会
厚木市青少年課

総務部会では何か特別な活動しているというより、各部会の補助を中心に活動しています。本当は何か特別な活動をした方がいいとも思いませんが、高一や高二の負担を考えると今年度は特別な活動を

総務部会

各部会から

四十三期　山口結月

今年度のジュニアリーダー活動ではコロナ禍での制限がたいぶ緩和された状態で活動をすることができました。コロナ禍前はどんな活動をしていたのか、高一もその下の代も分からない中での活動で、また、高二も活動の形がぐちゃぐちゃでもありました。

ですが、指導員さんや子ども会さん、下の代の子たちの協力もあって、かなりコロナ禍前の活動に戻すことができています。これからコロナ禍前の活動に戻す努力をしつつ、前よりも活発に活動できるように頑張っていきたいと思えます。これからも私たちジュニアリーダーの応援、お手伝いをよろしく願ひします。

会長あいさつ

活動部会ではジュニアで受け継がれてきた踊りである、なりわい節の練習会を開き、

活動部会

四十三期 秋山陽遥

主な活動内容は、今年度の後期から「奇跡の軌跡」の編集をしていました。新聞に記載する内容を考えた、誰にどの記事を担当してもらうかを考えたり、提出された記事の添削をしたりしていました。今年度の「奇跡の軌跡」は、前年の代と合同で取り組んでいて、前年度のコロナ禍で活動と、今年度のまた変わった環境での活動の様子が比較できる記事になったと思います。これまでなかなか新聞作りに携わる機会がなかったもので、貴重な経験になりました。

広報部会

するのはやめて、高一の活動を見守り、各部会の補助に回ることにしました。結果的に、高一の皆が沢山成長してくれたので、来年度の総務部会の子にはやりたいいことをたくさんやらせてあげたいと思っています。これからも総務部会をよろしく願います。

あつぎ国際

大道芸

令和五年十月十日

四十四期 佐藤まるみ
今回、初めて大道芸に参
加しました。スタンプラ
リーでは思った以上に参加
してくださった子どもたち
が多く、すぐに台紙がなくな
ってしまいました。が、子
どもたちの楽しんでる姿
を見るのができるいい二
日間になりました。ジュニ
アリーダーの仕事において
も手際よく子どもたちへ説
明ができた、景品を渡す
ことができて良かったと思
います。来年もこの大道芸
を開催できることを、心待
ちにしています！

四十三期 秋山陽選
 今回、私は、少年少女フェスティバルに参加して、缶バッチ作りのブースへの従事や、なりわい節披露をしました。缶バッチ作りのブースでは、子どもたちやジュニアリーダーが、思い思いの缶バッチを制作し、とても賑わっていて、子どもたちとジュニアリーダーの笑顔が溢れていました。
 なりわい節披露では、計10回踊りました。なりわい節の上達につながり、また達成感を味わうことができました。

少年少女
フェスティバル
令和五年五月十四
アミューあつ

令和五年五月十四日
アミューあつぎ



あつぎ国際大道芸

令和四年十一月十二日～十三日

四十三期 永田想実
 今回、あつぎ国際大道芸に従事
 してきました。新型コロナウイルス
 ス感染症の影響もあり3年ぶりに
 開催され、私自身は、初めての従
 事となりました。今までどのような
 形で行われていたのか知らずに
 不安もありましたが、さまざま
 大道芸人さんのパフォーマンスが
 観れるということもあり、楽し
 みを持ち、ありがとうございました。

当り、ジョーアリーターはハ
 ルーンリリーのゴール地点、サン
 パークでくじ引きの担当をしてい
 ました。サンパークに訪れていた
 ご家族の方たちは皆楽しんでい
 るようで、バルーンリリーに参
 ようとしてバルーンの場所をた
 ねてくれた人、大道芸人さんを
 む人など、このイベントがこな
 に多くの人の楽しみに繋がって
 たことを改めて感じました。バ
 ルーンを全て集めるとくじを回
 ことができ、くじを回しにきた
 子どもたちはあいさつを返して
 る子も多く、それだけで明るい
 持ちになりました。

このイベントは大道芸人さんはもちろん、大会主催の方々や私たちのようなボランティア、そして何よりアクシオンしてくれて楽しんでくれる周りの皆さんと一緒に作り上げているんだなと思いました。高校生の私でもこんなイベントを作る支えになれて、貴重な経験ができました。

来年もジュニアリーダーとして、訪れたてくれた人たちが楽しんで

めるイベント作りに協力したいと思いました。

はたちのつどい

令和五年一月九日

朝から市職員の方々や、実行委員の方々が忙しく働いていました。全員が揃って挨拶する時、本当にたくさんの方がいて、「このたくさんの方、一人一人がはたちのつどいを作っていくのか。」と悪い、自分もその中の1人であることがとても嬉しくなりました。

今回の活動は、中学校区ごとに3部に分けて行われました。その中で、私たちは、リーダーの仕事を担当や軽食の仕分け、紅白饅頭の包装、舞台裏の実行委員のサポートなど、二十歳の方々とほとんど関わることはない仕事でしたが、やる気と情熱を持って取り組むことができました。仕分けの細々とした作業では、仲間としっかり連携とコミュニケーションをとって、効率よくできたので、予定されていた時間よりもかなり早く作業を終わらせることができたので、達成感が大きかったです。

控え室では仕事が早く終わった分長くみんなと話すことができ、よりお互いへの理解が深まったと思います。頂いた差し入れのお菓子を食べたり、窓から見える参加者の華やかな振袖姿を見たり、学校のことなどを話しながら、楽し



い時間を過ごせました。
舞台裏でのお手伝いは舞台上のもの、舞台袖に片付けたり、実行委員の方々のお手伝いをしたりしました。式は大きな問題もなく進み、多くの人が二十歳を祝われていました。

今年の成人の日は、新二十歳の方々だけでなく、私にとっても素敵な日になりました。来年の成人の日も、多くの人にとって、素晴らしい日になれば良いな、と思います。

あつぎあおぞらアート展に初めて参加してきました。活動内容は、ぼうさいの丘公園に置いてある作品が壊れてないかななどを1周しながら確認したり、色んな形にカットされたものにスプレーで色を付けたりする作業を行いました。前日・当日が雨だった為、足元がとても悪かったです。

私も含め、参加したメンバーは、松ぼっくりに綿などをくっつけて作品を作成するという体験をさせていたきました。作る際に大変だった点は、綿とのりをくっつけるのところで、かなり苦戦しました。ですが、一人ひとり素敵な作品ができてとても楽しかったです。

また、来てくれた子どもと沢山関わる事ができて、小さい子どもにしかない考え方も沢山あったので、凄いなと思いました。また、子どもと関わることで、新たな視点を教えてもらえて、学ぶことも多かったです。市役所の方などに関わる機会があまり無かったので、少し緊張しましたが、話していくうちに緊張がほぐれて、とても楽しく活動ができました。

また、アートの先生方ともお話ができて、沢山アートなどについて、学ばせていただく機会になったので、参加できて良かったです！

あつち

あおぞらアート展

令和四年十月十日
（十月一六日）

四十二期 湯淺智晶

あ(きあおそら)展に初めて参加してきました。活動内容は、ほうさいの丘公園に置いてある作品が壊れてないかなどを1周しながら確認したり、色々な形にカットされたものにスプレーで色を付けたりする作業を行いました。前日・当日が雨だった為、足元がとても悪かったです。



七月八日から一泊二日で初級研修会を行いました。この研修会はジュニアリーダーの基礎を楽しく学び、コンセプトとして開催しました。新しく入ってきたジュニアにとって初めての研修会になったと思います。そして、高1カウンセラーにとっても初めて主催する研修会でした。私たち高1カウンセラーは先輩の力をお借りしながら、大きな事故もなく無事終わることができました。これからも日々精進していこうと思います。誰かが緊張から始まった研修会も笑顔であふれていました。

研修の様子

初級養成研修会

令和五年七月八日～九日

四十四期 上市貴人

今回、中級研修会でカウンセラーとして企画・運営をいたしました。この研修は二日間に渡り行われ、一日目は研修生の交流やジュニアについての講義、二日目は野外炊事が中心でした。私は企画・運営は今回が二回目ですが、全体を通して感じた前回との変化は、研修生とのコミュニケーションです。今までの研修やイベント行事の時より、休み時間に話しかける事に慣れてきて、その分研修生から話しかけられる事も多くなりました。ただ、自然と嬉しかったです。今回の研修ではこのような進歩やカウンセラーの連携を感じ、ジュニアリーダーの活動への自信にも繋がりました。残り少ない活動期間をさらに楽しく実りあるものにしていきたいです！



大人から

ジュニアリーダーに寄り添い

青少年指導員連絡協議会会長

川田 房江

ジュニアリーダーの皆さん、日々の活動へのご協力ありがとうございます。頃、この数年はコロナ禍により思うように活動ができませんでした。皆さんが何事にも意欲を持ち活動してくれた事に大変嬉しく思っています。

皆さんはジュニアリーダーとして活動する中で学校、部活、塾と忙しいと思います。なかなか参加できない時もあるでしょう。そして参加できない事でジュニアリーダーとして自信を無くしてしまふ事もあるでしょう。でも、皆さんはジュニアリーダーとしての知識もあるのですから、自信を持って参加協力してほしいと思っています。失敗を恐れて成功は無いと思っています。そして結果も大事ですが、それまでの過程も大切な事だと思います。いろいろな経験を重ねる中、心身ともに成長していけるような場所を作っていく事も青少年指導員として大切な事だと思っています。青春の真っ只中にいる皆さんは悩みもあると思いますが、その時は私たちに話してください。いつでも皆さんに寄り添っています。これからも、各地区のジュニア

知恵を出し合い

チームワークで

子ども会育成連絡協議会会長

石澤 ふじ枝

厚木市ジュニアリーダーズクラブの皆さん、いつも子ども会の活動に對しご協力いただきありがとうございます。この3年間は新型コロナウイルスの感染防止に力を注ぐことに時間と労力を費やし、本来の形での研修や活動が制限されたことも歯がゆい月日を過ごしたことも思います。そのような状況の中でも工夫をしながら、前向きに活動するジュニアリーダーの皆さんを見て、とてもたくましく、志は以前と変わってないなと感じています。この新型コロナウイルスの状況も好転しつつあり、来年度は活動依頼がたくさん舞い込み忙しくなるのではないでしようか。マスクを外し、大きな声を出して思いっきり活動ができる日が一步步近づいています。課題はいろいろあると思いますが、全員で知恵を出し合い、チームワークで、厚木市子どもたちのために、地域のリーダーとして

事務局から

厚木市子ども未来部青少年課

田口 寛明

令和4年4月から新たにジュニアリーダーズクラブの担当職員になり、活動をサポートする立場の私が「ジュニアリーダーとは何か」を、育成に携わる方々や、当事者である皆さんに教えてもらいながら過ごしてきました。そんな中、いろいろな方々のおかげで、右も左も分からない状態だった私でも、楽しく仕事をさせてもらっている事に、まずは感謝を述べたいです。地域の繋がりの希薄化が問題となっていたこの頃において、子どもたちの心を掴み、楽しませるクリエイティブな技術を身につけているジュニアリーダーの存在は、大変貴重なものだと思います。この数年は新型コロナウイルス感染症の影響で、我慢の時間が続いていたが、先輩たちが工夫しながらかつたゲームやわいふの継承をしてくれました。今も確かに、ジュニアリーダーの大切なバトンが、現ジュニアリーダーの手に渡っていると思います。学業や部活動など忙しい中、活動に貴重な時間を割いてくれるジュニアリーダーの皆さんには頭が上がりません。まだ見ぬ未来のジュニアリーダーの為に、引き続き事務局として、いろいろな活動をサポートをさせてもらえると嬉しいですね。



編集後記

奇跡の軌跡発行にあたり、コロナ禍において発行に至らなかった13号を14号と合同で出すことになりました。コロナの規制が緩和され、5年越しの横手の交流会にも行けて、だんだんジュニアリーダーの活動ができるようになってきました。至らぬところもありましたが、頑張って編集しました。これからもジュニアリーダーズクラブの活動を暖かく見守っていただけると幸いです。

中級養成研修会

令和五年七月二十二日
～二十三日

四十三期 永田想実

今回、中級研修会でカウンセラーとして企画・運営をいたしました。この研修は二日間に渡り行われ、一日目は研修生の交流やジュニアについての講義、二日目は野外炊事が中心でした。私は企画・運営は今回が二回目ですが、全体を通して感じた前回との変化は、研修生とのコミュニケーションです。今までの研修やイベント行事の時より、休み時間に話しかける事に慣れてきて、その分研修生から話しかけられる事も多くなりました。ただ、自然と嬉しかったです。今回の研修ではこのような進歩やカウンセラーの連携を感じ、ジュニアリーダーの活動への自信にも繋がりました。残り少ない活動期間をさらに楽しく実りあるものにしていきたいです！

育成者交流研修会

令和五年九月十日

四十三期 永田想実

育成者研修会ではジュニアリーダーと育成者の大人の方、子ども会の大人の方でそれぞれゲームや遊びを企画し、交流することを目指した研修会でした。私たちジュニアは大人の方も一緒に楽しめるようなゲームをしました。皆さんが楽しんでくれていたようで嬉しかったです。子ども会の方々の企画ではダンボールビルド・フライングコインゲームなどを行いました。どちらもチームワークが重要になってくるゲームで、大人の方々の良い機会でした。育成者の方々からはペタンクを教えていただき、一緒に高得点を目指して楽しめました。ペタンクの後はおやつにかき氷がありチームの皆でお祝いしました。この研修会を機に他のイベント行事依頼などでも大人の方に話しかけやすくなりました。

レクリエーション

研修会

令和五年十一月十八日

四十四期 佐藤まるみ

レクリエーション研修会では、アイスブレイク・山立て・プレゼント交換を行いました。中学生は、初めて山立てに挑戦し、苦戦しながら、依頼に応じたゲーム内

はたちのつどい

令和六年一月八日

四十四期 岡田楓華

一月八日に厚木市荻野運動公園で令和六年厚木市はたちのつどいが開催されました。ジュニアリーダーは、行事者のお昼ご飯の袋詰め、舞台転換、お饅頭のし紙を巻く作業など、舞台裏の仕事をお手伝いしました。このような晴れ舞台のお手伝いをさせて頂けたことは貴重な体験だったので嬉しかったです。時間配分を考えジュニア全員で協力し、予定よりも早く仕事を終わることができました。今回の活動は、私たちのつどいは「フタシロ」というテーマに沿った抽選会をアトラクションとして行いました。舞台裏で抽選のくじをまわすという時に、二十歳の方々の楽しそうな声や当選して嬉しそうなお手紙などが聞けて、改めてこのお手伝いができて良かったと思いました。